

# 第1学年 道徳学習指導案

指導者 教諭 田口 千紗都

- 1 日時 平成28年7月1日(金) 公開授業① 第1校時
- 2 学級 盛岡市立上田中学校1年2組 男子20名 女子18名 計38名 南校舎4階1年2組教室
- 3 主題 より良い学級を目指して「役割と責任の自覚, 集団生活の向上」【4-(4)】
- 資料名 「席がえ」(出典 『中学道徳1 明日をひらく』 東京書籍)

## 4 主題について

内容項目4-(4)は「自己が属する様々な集団の意義について理解を深め, 役割と責任を自覚し, 集団生活の向上に努める。」ことを目指している。人は, 様々な集団や社会の一員として生活しており, それぞれ目標や立場の異なる集団に所属しながら, 共同して日々の生活を送っている。集団の一員としてより良く生きていくためには自分の所属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し, 自分の役割と責任を果たし, 集団生活の充実に努めることが大切である。そして, 個々がその責任を果たすことで集団としての目標が達成され, その結果, 集団生活の向上が図られる。

本学級の生徒は, 日常生活や行事を通して, みんなで学級集団を高めていこうという気持ちをもって生活しており, 決められたルールを守ることや自分の係の仕事に責任をもって行おうとする生徒が大多数である。しかし, 体育祭などの行事を通して, みんなで協力しなければ成功しない, ということを経験していながらも, 時として集団のことよりも自分のことを優先しがちな場面も見受けられる。そのため, 自分勝手な行動に走り, それが周囲にどれだけの迷惑をかけているか気付かなかったり, 係の仕事や自分の役割を忘れてたりと, 学級に迷惑をかけてしまうこともしばしばある。

本資料は, 決まりを無視した学級の席がえをめぐり, 席がえのやり直しを伝えるべきか迷う中学生の行動をもとにした葛藤資料である。気が付いたら勝手に席がかわっているのを目の当たりにして怒りを覚えている「私」の気持ちに寄り添わせたい。そして, 言うべきか言わないかで迷う弱い心の部分にもフォーカスさせ, 心の葛藤を乗り越えていく主人公の姿から, 学級の副委員長としての「私」の役割や責任, そしてそれを支えるものが「学級をよくしたい」という思いであることに気付かせたい。さらに, やり直しを伝えるかどうか悩みながらも, 学級副委員長として学級に思いを伝えた主人公の姿を通して, 自分の役割を果たそうと責任をもって行動することが集団生活を向上させていくということに気付かせるとともに, 日々の生活の中で自分の係の仕事を頑張ることで集団生活を向上させたいという実践意欲をもたせたい。

## 5 本時の評価

道徳的心情	自分の役割や責任を果たそうとすることで, より良い学級を目指そうとする姿を賞賛的にとらえている。
道徳的判断力	よりよい学級になるためには, 自分の役割や責任を果たすことが大切であることを理解している。
道徳的実践意欲・態度	自分の役割と責任を果たし, その仕事を頑張ることで, 集団生活の向上に努めようとしている。 【生徒の記述例】 学級のことを思って, みんなに嫌わるかもしれないと思いながらも話した副委員長はすごいと思った。自分の役割を果たすことで学級が向上することに気付いたので, 私も係の仕事をみんなのために頑張る, 学級の生活をレベルアップさせられるようにしていきたい。

## 6 本時の指導構想

### (1) 本時のねらい

集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努めようとする態度を育む。

### (2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

#### 【考えがいのある課題設定】

考えがいのある課題を「より良い学級とはどんな学級だろう」と設定し、導入で提示する（「より良い学級とはどんな学級だろう」と聞く。）。課題解決の基となるのは、資料の内容と、自分のこれまでの日常生活の経験である。

#### 【「論理の思考型」の使用】

授業を通してすべての思考型を用いて考えさせたい。

ただし、第2発問である主人公の気持ちに対しての判断場面では、類別思考、類推思考型の視点を用いて考えさせたい（2 言うべきかどうか心がゆらいで迷っている「私」をどう思うか）。根拠をもとに理由づけをしながら自分の考えを発言させたい。

#### 【かかわり合い】

教師を通しての個と全体のかかわりで授業を展開する。個人の意見を全体で発表し、その意見に対する考えを発表させることで、かかわり合いを仕組んでいきたい。また、他の意見を自分の意見と比べて、関連性があるか、別の考えであるかを判断し、生徒同士の関わり合いを意識させたい。

#### 【自己評価活動】

終末において、自己評価活動を行う（※価値について考えたことを記入、発表する。）。本時の流れを振り返り、「学級として集団生活を送る上で決まりを守ったり、自分の役割や責任を自覚したりすることが大切だ」ということに気付かせたい。さらに、「自分の役割や責任をしっかりと果たし、その仕事を頑張ることで学級をもっと良くしていきたい。」といった、今後の道徳的実践意欲や態度にもつながる記述をさせたい。

7 本時の展開

段階	過程	学習活動（主な発問）	期待する生徒の反応	指導上の留意点
導入 8分	状況の把握	<p>※「より良い学級」について聞くことで、学級に必要なことを考えさせる。</p> <p>※主人公について確認する。</p> <p>※資料の範読。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団結力がある</li> <li>・協力し合える</li> <li>・お互いを認め合える</li> <li>・言うべきことをきちんとと言える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学校生活にふれて、身近な題材と感じさせる。</li> <li>・資料に対する共通理解をさせる。</li> </ul>
展  開	課題意識を高める	<p>1, 勝手に席をかえて、自分と仲の良い友だちと座っているみんなをみて「私」はどう思ったのだろう。（動作化）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで決めた学級のルールを破るなんてひどい。自分勝手だ。</li> <li>・仲の良い友だち同士で座った分、嫌な思いをした人もいるはずだ。</li> <li>・これではくじ引きした意味がない。</li> <li>・自己満足なだけで周りのことを考えていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作化では、くじ引きで席がえをしたあと、好き勝手に席をかえたのを副会長が見ている、という場面を行い、それをもとにどう感じたかを問う。</li> <li>・学級のルールをやぶり、好き勝手なことをしているのを目の当たりにしてショックを受けている「私」に共感させる。</li> </ul>
	価値の追究	<p>2, 学級副委員長の「私」はどうして心がゆらいでいるのだろうか。 【類推思考, 類別思考】</p>	<p>&lt;言わない気持ち&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力してくれないかもしれないし、反感を買うかもしれない。</li> <li>・仲間外れになってしまうかもしれない。</li> </ul> <p>&lt;言う気持ち&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長として言わなければいけない</li> <li>・勝手に席をかえられて嫌な思いをしている人がいるのにそれを許してはいけない。</li> <li>・リーダーとして、正しいことをみんなに迷わずに伝えるべきだ。</li> <li>・みんなに伝える責任がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長として、正しいことをみんなに伝えたい気持ちと、反発を恐れる弱い気持ちの2つの心の葛藤をとらえさせる。</li> </ul>
	価値の把握	<p>3, 副委員長として、どんな思いで手を挙げたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌な思いをする人がいないためにも、正しいことをみんなで実行することが大事だ。</li> <li>・リーダーとして、正しいことを伝えるのは私の役割だ。</li> <li>・副委員長である私が言わなければ、学級がめちゃくちゃになってしまうかもしれない。</li> <li>・自分が役割を果たすことで、学級が決まりを守れるより良い姿に戻したい。</li> <li>・みんなで協力し合える良い学級にしないといけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私」が、副委員長（役割）として、きまりの意義をみんなに訴えなければならぬと気付いた点を押さえさせる。</li> <li>・副委員長の役割をこえて、「学級を良くしたい」という強い思いがあることを押さえさせる。</li> </ul>
3 2 分	価値の把握	<p>4, 自分の役割を頑張ることが1年2組のためにどう役立っているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会長としてみんなにやるべきことを声がけすることで、学級がまとまることができる。</li> <li>・教科リーダーの仕事をするので、みんなの忘れ物が減り、学級として学習に集中することができ、結果として学力向上につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級として決めたルールを守ったり、役割や責任を果たしたりすることが、より良い学級集団になるために必要であることに気づかせる。</li> </ul>
終末 1 0 分	自己評価活動	<p>※価値について考えたことを記入、発表する。 【自己決定】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学級のことを思って、みんなに嫌われるかもしれないと思ながらも話した副委員長はすごいと思った。自分の役割を果たすことで学級が向上することに気付いたので、私も係の仕事みんなのために頑張りと、学級での生活をレベルアップさせられるようにしていきたい。</p> </div>	<p>【道徳的实践意欲・態度】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の役割を責任と自覚をもって果たし、その仕事を頑張ることで、より良い学級を目指そうとしている。</p> </div>

# 席がえ

**【副委員長の「私」は、どんな思いで手をあげたのだろうか。】**


**【 今日の授業で学んだこと 】**

- ・今日の資料を通して考えたことや感じたこと。
- ・自分にはどんな考えがあったのか、授業を通してどうなったか。
- ・今までの自分はどうなったのか、これからどのようにしていこうと思ったのか。

今日の授業で、素晴らしいと思ったのは、誰のどんな発言ですか。